

整理番号：5-2

提言題名：取手駅東口ホームのバリアフリー化について

【提言の要旨】

取手駅東口を利用しますが、ホームへ行くまでエレベーターもエスカレーターもありません。足が不自由なので、手すりにつかまり、杖をついてホームへたどり着きます。また、ベビーカーを利用している方が、赤ちゃんを乗せたままベビーカーをかついで階段を降りているのを見かけました。高齢者も障害者も電車を利用しています。西口に比べると東口は利用者も多いのに、不便です。早急に対応していただきたいです。また、実現する具体的な時期についても教えてください。

(令和元年6月受付)

【回答の要旨】

取手駅東口改札から駅ホームに向かう経路のバリアフリー化についてですが、御指摘のとおり、東口改札から駅ホームまではエレベーターやエスカレーターが整備されていないことから、市としましてもバリアフリー経路の必要性を認識しており、これまで整備主体であるJR東日本と慎重に設置案の検討を行ってまいりました。

現地での調査の結果、東口改札から3～4番及び5～6番ホームに至る経路にエレベーターやエスカレーターを設置することは、電気配線設備への影響や列車運行の安全性の確保といった駅舎の構造上の問題から非常に困難であることが判明しました。

そこで、現状考え得る最善の策として、1～2番ホームにエレベーターとホームからの転落事故などを防止するホームドアを設置する方向で、JR東日本にて検討を行っております。

エレベーターの乗り継ぎが必要になる場合もございますが、今回の整備により東口からでも安全にすべてのホームにアクセスすることが可能となり、利便性も向上いたしますのでご理解ください。

また、今後の事業実施に向けたスケジュール等の情報については、JR東日本との協議の進捗に基づき、広報などでお知らせしてまいります。

具体的な整備の時期ですが、整備する方向でJRとは協議が進んでおり、市としてもなるべく早期に事業に着手できるよう働きかけています。整備の時期がわかり次第、広報などでお知らせします。

(中心市街地整備課 令和元年6月回答)